

2015 明治安田生命 J2 リーグ
第 2 8 節

vs. ロアッソ熊本戦

8/8 19:00 kick off
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

2015J2 順位表 第 2 7 節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1 大宮	64p +37	52	15	H●	A●
2 磐田	50p +13	40	27	A○	HO
3 東京V	46p +8	31	23	A●	H●
4 C大阪	44p +15	39	24	H●	
5 金沢	42p +11	33	22	H●	AΔ
6 福岡	42p +2	34	32	AΔ	
7 千葉	41p +9	36	27	A●	
8 長崎	41p +9	29	20	HO	
9 愛媛	38p -3	27	30	HO	
10 札幌	35p +1	28	27	H●	
11 横浜FC	35p -14	23	37	A●	H●
12 讃岐	33p -4	19	23	HO	
13 北九州	33p -7	32	39	A●	
14 熊本	32p -6	27	33	A○	
*15 群馬	32p -11	23	34	HΔ	
16 岡山	31p -2	27	29	A●	
17 徳島	31p -4	23	27	A●	
18 水戸	30p -3	26	29	HΔ	
19 京都	28p -9	29	38	HΔ	
20 栃木	27p -11	25	36	H●	
21 大分	26p -6	26	32	A●	
*22 岐阜	23p -25	26	51	---	---

(*印は消化試合が1つ少ない)

次回HomeGame

第31節 vs.ギラヴァンツ北九州
9/13(日) 19:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel:058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心 癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : ロアッソ熊本

2014 J2 13勝15分14敗 勝ち点54:13位

直近の対決と結果

2015/05/17 J2 - 14節@水前寺
熊本 1-2 岐阜 岡根直哉、難波宏明 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		ロアッソ熊本	
2015/07/26 J2 -26節@NACK 大宮 5-0 岐阜		2015/08/01 J2 -27節@うますた 熊本 2-0 栃木	
2015/07/22 J2 -25節@長良川 岐阜 2-0 磐田		2015/07/26 J2 -26節@フクアリ 千葉 2-3 熊本	
2015/07/18 J2 -24節@石川西部 金沢 1-1 岐阜		2015/07/22 J2 -25節@うますた 熊本 0-1 東京V	

●7/22(水) 第25節・ホーム磐田戦。雨の降る中で、しかも中3日での平日ナイターという悪いコンディションでの試合だったが、見事に2位の磐田を2-0で破り、6/21(日) 第19節に続いて“ダブル(対戦を連勝)”で飾ったFC岐阜。これで勢いをつけたチームは、7/26(日) 第26節には首位・大宮との一戦に臨んだが、何れも決定機を逃して自ら試合の流れを失い、一方で大宮は的確に得点を挙げ、終わってみれば0-5の大差という悔しい敗戦になってしまった。磐田戦での勝利で最下位を脱出していたFC岐阜だが、この敗戦で再び最下位(=自動降格圏)に。8/1(土) 第27節・アウェイ群馬戦は雷雨のため中止となったため、(1試合少ない状況だが)現在も最下位のまま。この試合の代替日は8/26(水)に決まり、8/23(日)アウェイ栃木戦から中2日での試合となるため、厳しい試合になることが予想されるが、逆に今節は(アウェイへの移動はあったものの)十分な休養を得ての試合となる。ここはしっかりと勝っておきたいところだ。

さて、今節の対戦相手は現在14位のロアッソ熊本。シーズン前半戦終了時には20位だったのだが、後半戦6試合では4勝1分1敗と非常に好調で、急激に順位を上げているチームだ。熊本と岐阜は、共に2008年にJリーグに昇格を決めた“昇格同期”だが、対戦成績もほぼ互角となっている。通算対戦は岐阜の5勝6分6敗、22得点23失点。今シーズンの5/17(日)・アウェイ第17節には2-1で逆転勝利を治めることができたが、昨年のホーム戦・9/23(火) 第33節には、2-3で逆転負けを喫している。ホーム戦で通算1勝4分2敗、勝利したのは2009年に遡るといふ悪い流れも断ち切りたいところだ。現在連勝中、今節に3連勝を狙う熊本は、好調を維持しつつ前回の対戦のリベンジに燃えて乗り込んでくるだろうが、こちらも昨年のホーム戦での借りを返さなくてはならない。今度こそはホーム・長良川で熊本を下す選手の勇姿を見たいものだ。

熊本の最も注意すべき選手は、まずは現在11得点で得点ランキング2位タイ、現在リーグ得点王の#24 難波宏明に1点差で迫っている#17FW 齊藤和樹だろう。前節の対戦でもゴールを決められており、まずは彼を自由にさせないよう、岐阜の守備陣には奮起を期待したい。また、2列目から飛び出してくる#39MF 嶋田慎太郎は5得点、セットプレーで#32CB クォン・ハンジンが4得点。この3人で計20得点、今シーズンの熊本の全27得点のほとんどを叩き出している。しっかりとブロックを固めて無失点に抑えることを期待したい。一方の(熊本の)守備陣では、#41GK シュミット・ダニエルがシーズン途中のレンタル移籍後、全試合でゴールマウスを守り、毎試合ビッグセーブを連発して熊本の好調に一役買っている。#24FW 難波宏明には、この試合で是非ともゴールネットを揺らして岐阜の勝利に、そして得点王争いでも一歩先を行って欲しいところだ。

今シーズンの開催日程の都合で、今節は8月で唯一のホーム戦開催日となる。岐阜の選手が活躍する姿を、夏休み中の子ども達の思い出に残すためにも、そして最下位脱出のためにも、この暑い夏の大事なホーム戦だ。最後までひたむきに走る選手の背中を押す拍手を、声援を送って、最後は勝利の万歳四唱で記憶に残る試合にしよう。(ささたく)

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
gidaidohri@hotmail.co.jp

【第25節】岐阜 2-0 磐田

●平日・水曜日のナイター。しかも天候は強風混じりの雨。それでも集まる5000人もの観客・サポーター…（たぶん）岐阜サポは「ヤマハの逆転劇の再来」を期待して、そして一方の磐田サポの皆さんは「ヤマハのリベンジ」を誓って…いや、僕もその1人だったんで何かを言える立場には全くないんですが（笑）。

あいにくの雨の試合…とは言うものの、僕にとっては「夏の雨のホーム戦」といえば、すぐに思い出されるのは2009年シーズン7/26（日）第30節・（首位だった）セレッソ大阪に2-1で勝利した試合です（笑）。今節も強豪・磐田相手に、この雨風が有利に働くといいなあ…なんて思ってたのは僕だけだったのでしょうか（苦笑）。

あいにくの雨の試合…とは言うものの、僕にとっては「夏の雨のホーム戦」といえば、すぐに思い出されるのは2009年シーズン7/26（日）第30節・（首位だった）セレッソ大阪に2-1で勝利した試合です（笑）。今節も強豪・磐田相手に、この雨風が有利に働くといいなあ…なんて思ってたのは僕だけだったのでしょうか（苦笑）。

2009年よりはメモリアルの芝生の状態は（国体時の改修で）良くなってるはずなんだけど、磐田の選手たちにとっては、雨の長良川は厳しいピッチなのかな…？って思ってしまうぐらい、なんか今節の磐田の攻撃には（申し訳ないけれど）迫力が感じられなくて、その理由を頭の片隅でぼんやりと考えながら、僕は声援を送っていたのです、はい。ヤマハの2階スタンドからの視界に迫力があつたから逆に迫力が無いように見えるのかな？岐阜の戦術（フォーメーション）が、磐田のそれとは相性が良いのかな？（確かにヤマハでも後半はウチのペースだったし…）、ホーム戦でウチの選手たちが良く集中できているから？それとも、ウチの新加入#34 渡邊将基や#39 風間宏矢が効いてるからなのかな？…等と、いろいろと考えながら見ていたんです。まあ雨風が強くて試合が見にくいこともあって、よく判らなかつたんですが（苦笑）、とりあえず前半終了時に思ったのは「この試合も勝てるチャンスかも！！」（笑）。後半になると更に雨風が強くなって、その風上に立ったのは岐阜。とはいえ、なかなかチャンスも作れない中だったんだけど、セットプレーからの先制ゴール！（喜んでるヘニキのゴールかと思ったんだけどオウンゴールだったんですね…（苦笑））今までのセットプレーは、ほとんど#6 高地がキッカーだったけれど、この時は#39 風間がキッカー。良い補強ができたのかな？って思いながらも、しかし磐田の反撃が…あれ？そんなに怖くないのは何故？って再び不思議に思える（いやウチが優位なのは嬉しいんですけど）試合運びで（苦笑）。そしたら#44 砂川誠が出てきて、（今シーズンは1試合も札幌で出場してなかつたけど大丈夫なのかな…）って、実は少し心配してたんなんですが…砂川選手ごめんなさい、風を読んでの見事なFKで相手のオウンゴールを誘っていただきまして本当にありがとうございました（平身低頭）。そして…「もしかして」とは思ってたけれど、やっぱり来たね、試合途中での「アイダ（勝利の凱旋歌）」！！（苦笑）いや、実に気持ちよく歌わせていただきました。終わってみれば、2-0の完勝。J1 経験クラブ、J2 上位のチームに“ダブル”が獲れたのって、これが初めてじゃないかな？ちょっと僕の記憶にはないです。その意味でも、僕の中で「今季のベストゲーム」が更新されました。なお、2位はアウェイ磐田戦です（笑）。試合終了後、キャプテン高地がゴール裏のサポーターに向かって「僕ら選手だけでなくクラブみんなが一丸となって頑張ってる。だから最後まで信じて応援して欲しい」って語りかけてくれた。録画をみたら、試合終了時には顔を覆っているのが判った。やっぱり人一倍、苦悩してたんだ…と僕も目頭が熱くなってしまったし、応援する気持ちを新たにしました、はい。

とはいえ、磐田に連勝しても残念ながらボーナス勝ち点は貰えなくて（苦笑）、勝ち点6が積み上がるだけ。もちろん嬉しいんだけど、他の対戦でも取りこぼさず、勝ち点を積み重ねていくことが大事。その気持ちを最後まで忘れずお願いしますよ！僕らも最後まで応援します！（ささたく）

●磐田相手にダブル達成！しかもシャットアウト！！ホントによく粘った。よくがんばった。そして、ありがと一、名波。磐田はいいチームだよ。来季もよろしくね。ウチもガンバるよ（笑）……。スイマセン、調子に乗りすぎました。なにせトップ3との三連戦。その2試合目で早くも勝ち点4をゲットできたもんですから、つつい。

勝因のひとつは天佑。もちろん、冒頭に書いたように選手達のファイトが一番の要因ではあるが、この天候もウチに有利に働いたことは否めない。ことに後半は雨風共に強さが増し、それが岐阜のゴール裏に向かって吹き込んでくるもんだから磐田のDF陣は相当やりにくかつただろう。その結果がオウン・ゴールの2点、と言ったら言い過ぎか。先取点はヘニキのゴールのままで残ってほしかったけど……。さらに、6月の磐田戦で暴れまくられたアダイウトンの不在という恩恵もあった。そのせいか、あるいは天候を加味してか、磐田は前半から早めにジェイに当ててくるのが多かつた。その戦法が逆に磐田の持ち味を消したと言えなくもない、かな？雨がなければ、どうだったか。ま、晴れてたら晴れてたで、今度は岐阜の暑さが味方になってくれたかもしれない。静岡の夏って過ごしやすい暑さなんですよ。岐阜と全然違います。

それにしても、嵐とまではいかないが、強い風雨の中での夜の戦い。天下を狙う静岡の強豪を返り討ちにする。この夜の長良川は「桶狭間」になったみたいだな。ウチも信長に習って天下を狙えるように……。いやいや、まだまだ早すぎる。もつと、順位を上げて経営も安定してからにしよう、そういう話は。今はとにかく、しぶとく勝ち点を拾って残留を勝ち取ることが最優先事項。勝負はここからだ。

あ、最後に一言。あれはいかにも早すぎるだろ（苦笑）>アイダ。いや、歌い切ったけど、ずっとヒヤヒヤし通しだったことを正直に告白しておきます。でも、歌い続け、歌い続けることで選手達を鼓舞することができたかもしれない。シビレルような経験をさせていただきました。また、やりたいね。（ぐん、）

●個人的な話ですが、『海の日』3連休で転居をしまして。で、この日は各種の住所変更手続きのために会社は年休。ぐ、偶然なんだからねっ！決して、磐田戦の夜に休めるようにすべて計画したわけじゃ、ないんだからねっ！（笑）。実際、転居に関しての溜まりに溜まった疲労に加えての、あの天候。『岐大通』だけ配ったら自宅に戻ろうか……。という考えがよぎったことを痛苦的な自己批判とともにカムアウトします（笑）。かつて交流のあつたサッカー選手が言ったのだけど、試合中の選手にとってイヤなのは「雨」じゃなく「風」。南から北に吹き抜ける強風は、ときには舞うように向きを変え、ときには止まる。これは選手は相当やりにくかつただろう。とはいえ、それは後半だけじゃないので条件は岐阜も磐田も同じ。観ていて思ったのは、相手の名波監督はピッチ・コンディション（特に芝の上の）を考え過ぎたんじゃないだろうか。いつもの磐田らしくない、トップに当ててサイドに散らす「シンプル」な攻撃の多用。自慢の「攻撃の「引き出し」」をあまり開けずに試合に臨んでくれたのは、岐阜には好都合だった。もちろん、それに対する岐阜の各選手のファイトぶりは、試合後のラモス監督の「選手はがんばってくれた」を100%支持します！というモノ。現場では誰がどう見てもヘニキの豪快なヘッド炸裂に見えた（笑）1点目のオウンゴールを誘ったのは、新加入・風間宏矢のCK。高地のと違って、低く速いボールを入れてくる。セットプレーでのプレスキックにバリエーションが出来たのは、「守り抜く」サッカーではなく「攻め切る」サッカーを標榜する（していると思われる）ラモス・サッカーにとって大きな武器になるね。かくして、「あの」磐田に“ダブル”。日和って帰宅しなくて、本当によかつたです（笑）。（吉田铸造）

【第26節】大宮 5-0 岐阜

●う～ん……。このスコア、この結果でこんなことを書くとも怒られる、もしくは失笑されるかもしれないが、どうしても内容と現実のギャップが素直に受け入れられない。腑に落ちない。どうしても、そういうモヤモヤ感が拭いきれないまま今に至っている。もちろん、内容自体は悪くなかったと思っただけで、それだけでこのままいけば大丈夫とも思っちゃいない。何しろ、結果は前期と同様の5-0。サッカーにハマってる？人々が言うところの「夢のスコア」。いかに首位相手とはいえ、もう少し接戦に持ち込むクラブが多い中での、この数字。現状を如実に示していると言えなくもない。そこは忘れちゃいけないと思う。そうは思うんだが、しかし……。いや、それにしても、この日の大宮は暑かった。到着した時は、本気で「ヤバい」と思うくらい暑かった。それでも、隣接の野球場の日陰、風の抜ける場所を探して待機。入場後もコンコースの風の通り道で体力温存。ピッチ内練習中も体力温存。そうでないと、保たなかった。岐阜と最高気温争いをする事で名高い（笑）埼玉県某市在住の他サポさんが「まちががなく、今季一番の暑さです。」と太鼓判を押してくださった。この時季だからある程度は覚悟していたがホント勘弁してください……というコンディション。スタンドでさえこうなんだから、選手は言わずもがな。その中での中三日、その他諸々の状況、コンディションを考えれば、キックオフからドン引き5バック、あるいは6バックもやむなし。とにかく、前半は無失点で締める。そういう展開も想定してたけど、そこは、やはりオレ達のカリオカ。そんな考えは微塵もなかったね。その前掛かりな前半の中では、様子見的な大宮に対し、あわやの場面、枠に飛びさえすれば……のシュートも数本あった。あったにはあったが、所詮タラレバ。結局、最後の精度。そして、途中の精度。そこら辺の差がモロに現れたといえるだろうか。最後までよく走ったんだけど、ムダ走りになりすぎたら、疲れが溜まるよね。泰輔の負傷交替がなかったら……。いや、それを言うのは止めておきましょうか。とにかく次節の群馬戦から。このアウェイ連戦から8月の三試合がひとつの正念場。とりあえず、今日はゆっくり休んでください>選手達。それにしても……。やっぱり、帰りの新幹線の車中でも釈然としない気持ちが続く。なんで、こうなるの？という気持ちと、妥当な結果という気持ち。相反する思いが行ったり来たり。これが、最下位クラブのサポの宿命なのか？（苦笑）（ぐん）

【セカンド】現在の状況

●東海社会人リーグ1部を戦うFC岐阜 SECOND（以下『セカンド』）ですが、リーグ戦は全14試合中10試合を終えて4勝1分5敗の勝ち点13で8チーム中5位。1位の鈴鹿ランポレとは勝ち点9の差がつき、理論的には可能ですが、優勝はかなり厳しくなりました。逆にJFL昇格チームが現れないと下位2チームが2部に自動降格となるため、降格圏・7位の矢崎バレンテと勝ち点5差であり、しかも矢崎は消化試合が1試合少ないため、こちらを気にしないといけない状況です。8月は基本的にリーグ戦は和歌山国体の東海予選、天皇杯岐阜県最終予選があるためにお休み。9月から再開となります。その「岐阜県サッカー選手権大会（天皇杯岐阜県最終予選）」ですが、8/22と23で長良川球技メドウで開催。県協会公式サイトが未更新ですので正確なところは把握出来ていませんが、おそらく22日が大学2位の岐阜大学と、勝てば翌日の決勝は「岐阜経済大学 vs FC KAWASAKI の勝者」となり、県代表となると全国大会1回戦は8/29にJ2・ザスパクサツ群馬との対戦になります。（吉田鑄造）

【ユース】公式戦も「夏休み」

●我々がFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は現在G1リーグに参戦しています。7月25日に第9節中京高校戦が行われました。前節インターハイ出場を決めていた岐阜工業相手に1対1で引き分けて、調子も前向きになってきているかな？と思われたのですが、この日は1対4で敗戦。リーグ前半戦を1勝3分5敗の勝点6となり、（雨天延期の試合も有りますので）暫定8位で終了しました。この後しばらくは公式戦がありません。次の公式戦は8月29日（土）に開催予定となっている第10節の大垣工業戦です。大垣工業はリーグ戦では7勝1分で負けなしの首位独走しているチームです。夏休み期間は遠征や練習試合等があるでしょうから、しっかりリーグ戦の再開に向けて準備をして貰いたいです。頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！
※試合会場・時間は岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトでご確認下さい。（シュナ）

8/2 現在の、J3 順位表。

自動昇格 1 山口 22 試合 57p+28 64 19 ●申請中

入替戦 2 町田 22 試合 45p+19 30 11 ★保有

3 長野 22 試合 42p+10 26 16 ★保有

4 相模原 22 試合 40p+12 33 21

5 琉球 23 試合 35p+1 27 24 (○申請?)

6 鳥取 22 試合 33p+2 24 22 (☆保有)

- ★：今季J2ライセンス保有（おそらく来季も申請）、
- ：来季J2ライセンス申請中（公表済）、
- ：来季J2ライセンス申請中（未確認）、
- ☆：今季J2ライセンス保有も来季は申請せず

●上位6チームを掲載しました。2位以下が勝ち点を伸ばし損ねている間に山口が順調に3連勝、もう『磐石』といった状況になりつつあります。岐阜を含めてJ2残留争いをしているチームにとって注目は、9月に発表予定の「次年度のJライセンス」と、J3の2位争い。現在4位ながら2位と勝ち点5差の相模原の監督は前・FC岐阜監督の辛島啓珠さん。チームにも元・岐阜の選手が多く（高木貴弘、井上平、須藤右介、森勇介、永芳卓磨、樋口寛規が在籍）、一部の岐阜サポはつつい「お願いっ、2位に入って！」（=J2の21位は自動残留になる）と過剰に期待してしまう傾向があります（注：私もです）。岐阜 vs 熊本の翌日（8/9）には相模原 vs 町田の「隣町対決」が組まれており、今後の展開に大きく影響するため、注目しています。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。（編集人：吉田鑄造）

